

# 設置工事技術資料

## 全熱交換型24時間換気システム **エアロード24B** [TSK-24B]

本機器に関する施工は、本技術資料に従っておこなってください。

# － 施工手順 －

施工打ち合せ



①ユニット本体の設置



②ダクトの設置



③パイプフードの取付け



④分岐Y管の取付け



⑤分岐チャンバーボックスの取付け



⑥グリルの取り付け



⑦スイッチの取り付け

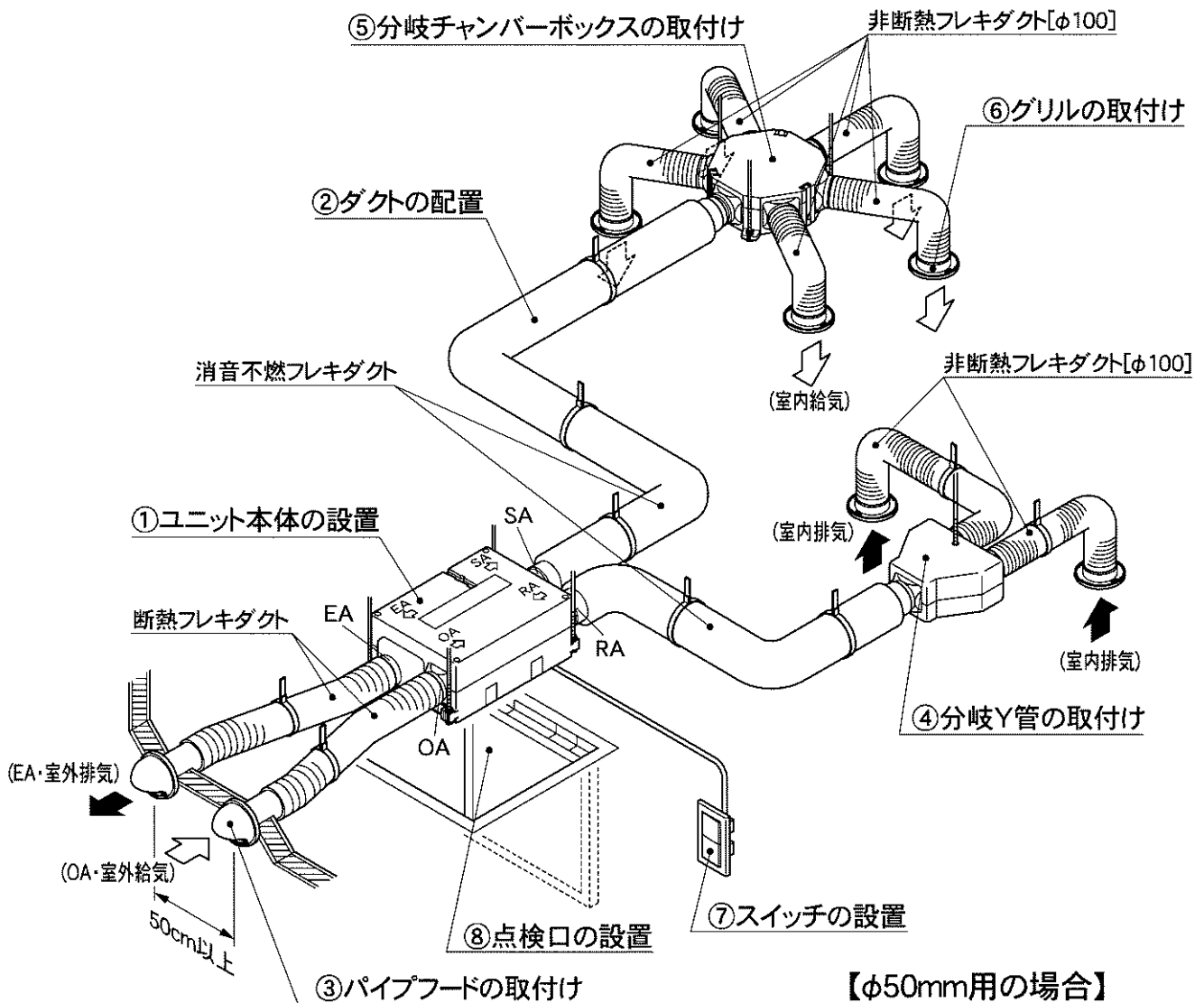


⑧点検口の設置

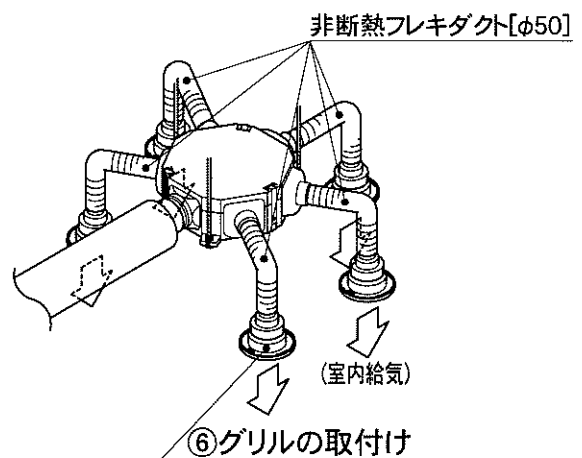
# 全熱交換型24時間換気システム施工イメージ図

## エアロド24B換気システム [TSK-24B]

【φ100mm用の場合】



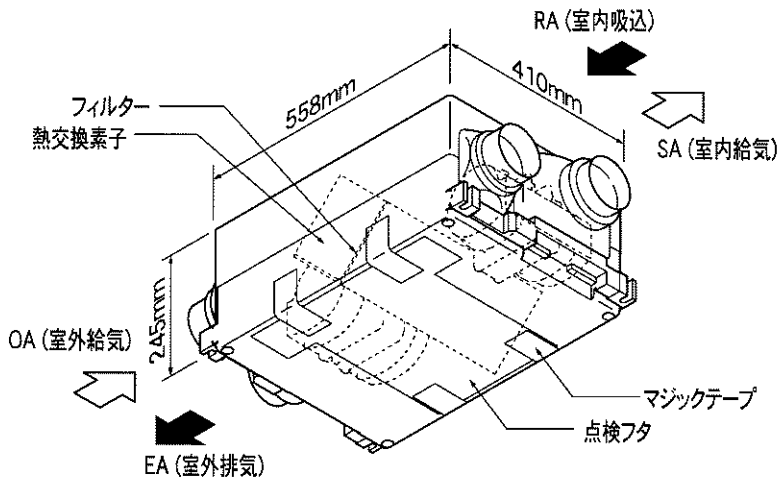
【φ50mm用の場合】



※施工打ち合せ  
 施工工事を行う前に必ず現場打ち合せを行い、作業区分や  
 本体・ダクトの設置場所などの確認を行ってください。

# ①ユニット本体の設置

## 【各部の名称と寸法】



### ⚠ 警告

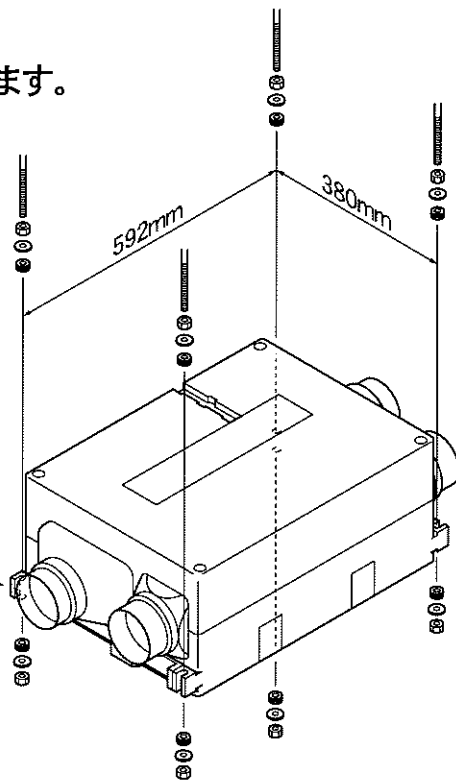
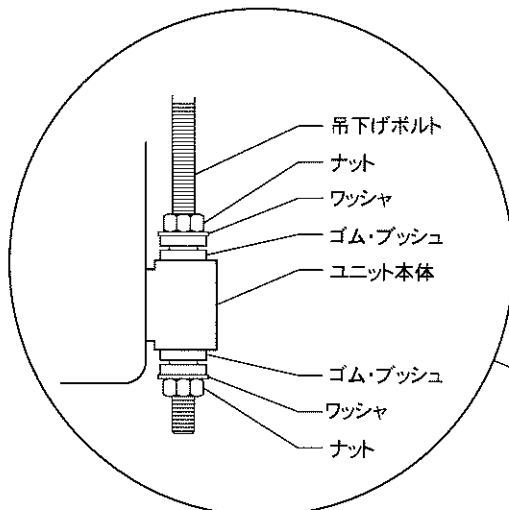
- ユニット本体の据え付けは、確実に取付けてください。落下によりけがをする恐れがあります。

・天井吊下げボルト、ナット、ワッシャ、木ねじはお客様にてご用意ください。  
 ・取付けは、製品の重量(7.0kg)に十分耐えるようにしっかりと、水平に取付けてください。

### ⚠ 注意

- 据え付け工事部品は必ず指定部品(付属部品も含む)を使用してください。指定部品を使用しないと、ユニットの落下、火災、感電などの原因になります。
- 付属のゴム・ブッシュは必ず使用してください。振動・騒音の原因になります。

1. 天井面にボルトをしっかりと固定した後、本体をゴム・ブッシュ(付属品)、ナット、ワッシャで止めます。

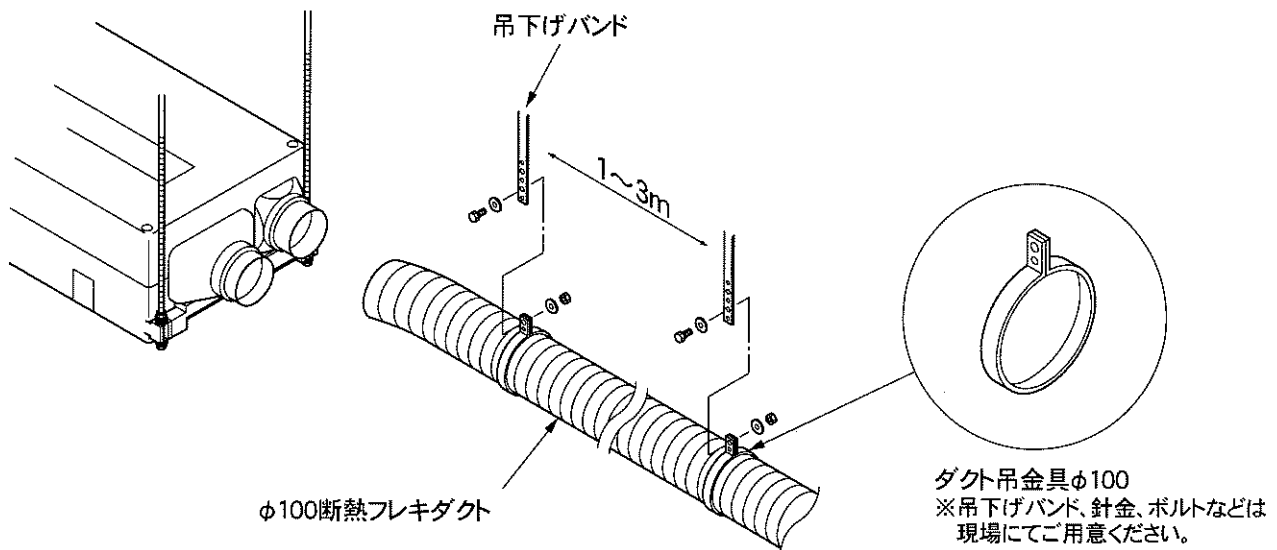


- 注、付属のゴム・ブッシュは必ず使用してください。振動・騒音の原因になります。

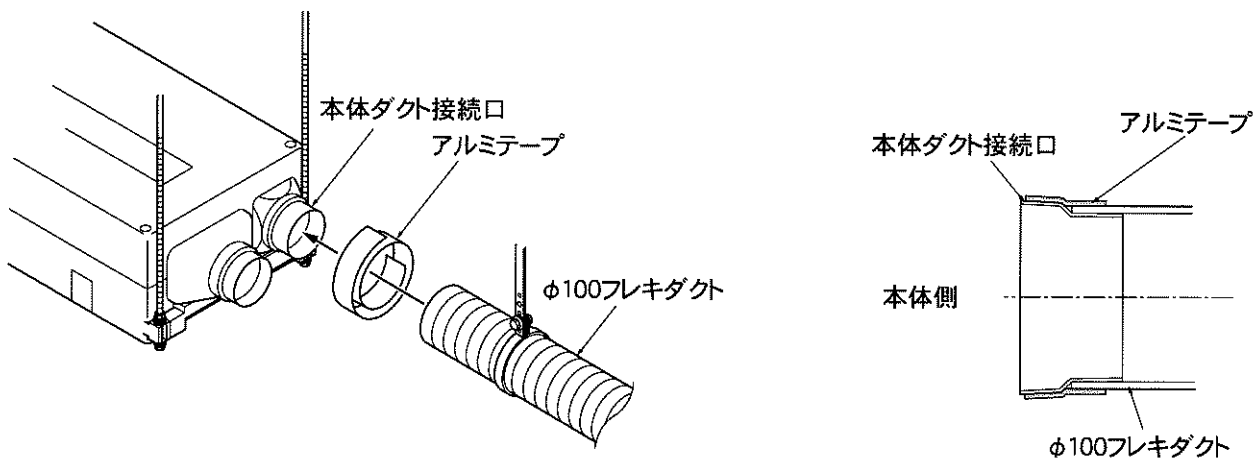
※ボルト、ワッシャ、ナットは、現場にてご用意ください。  
 ※梁などの構造物に直接接触しないように吊下げてください。  
 ※取付けが不十分だと危険であるとともに、振動・異音の原因ともなりますので注意してください。

## ②ダクトの設置

1. 1～3m間隔で、ダクトを吊下げるための吊下げバンド、または針金を天上面に取付けます。
2. 断熱フレキダクトφ100に、ダクト吊金具φ100を取付けます。
3. ダクト吊金具φ100と天井面に取付けた吊下げバンドなどをボルトで固定します  
(野縁施工後ダクトを配管する場合はころがし配管ができるので、ダクトを吊下げる必要はありません)



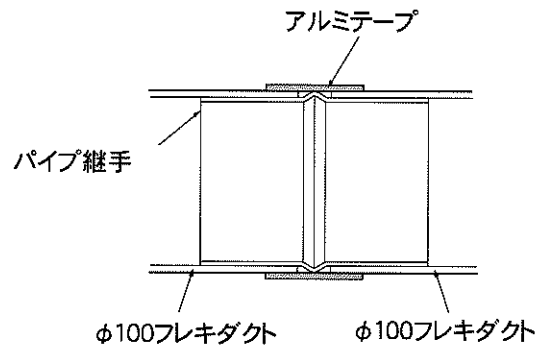
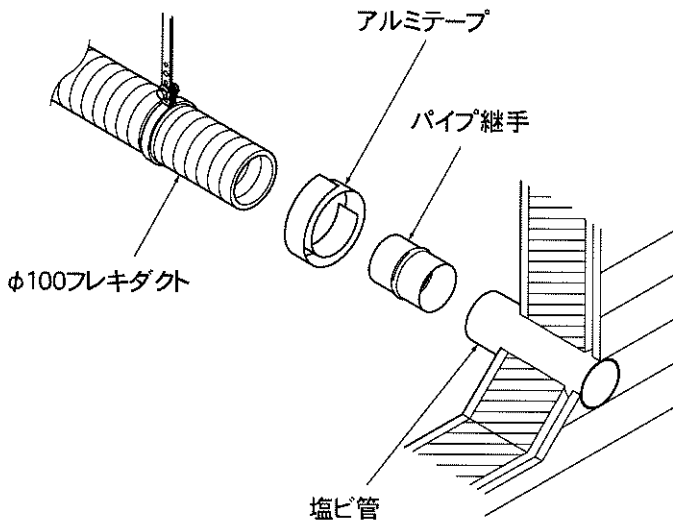
4. 断熱フレキダクトを適切な長さに切断します。
5. φ100断熱フレキダクトを、本体にしっかりと差込みます。
6. 差し込んだ部分をアルミテープで巻いて止めます。



※アルミテープ貼り付け後、接着力を強めるために、アルミテープの表面を強くしごいて十分密着させてください。

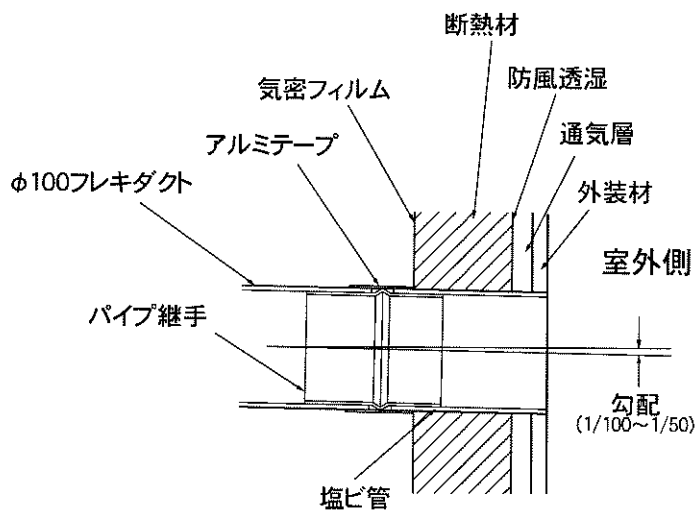
7. パイプ継手を使ってダクトと壁面に設置した塩ビ管にしっかり差し込みつなぎます。
8. つないだダクトと塩ビ管をアルミテープで巻いて止めます。

【ダクトを延長する場合】



**⚠ 注意**

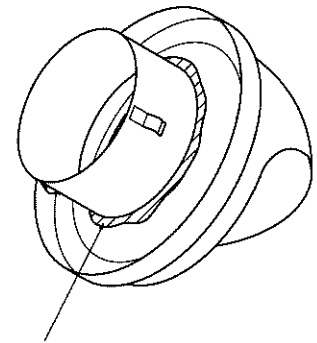
- 換気ユニット室外側のダクトは室外側へ下り勾配にしてください。  
不完全な場合は室内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。



※アルミテープ貼り付け後、接着力を強めるために、アルミテープの表面を強くしごいて十分密着させてください。

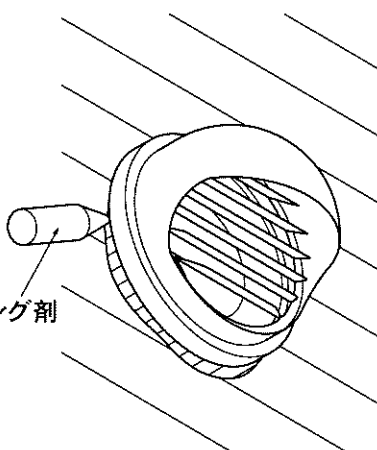
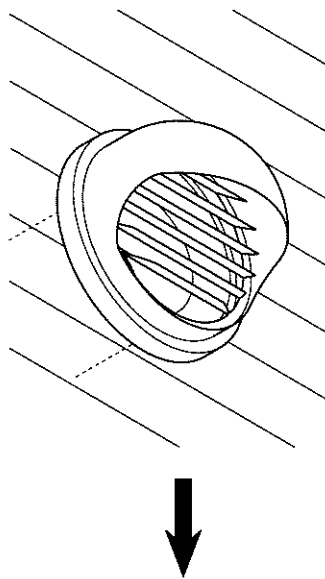
### ③パイプフードの取付け

1. パイプフードを取付ける前に、コーキング剤を施します。



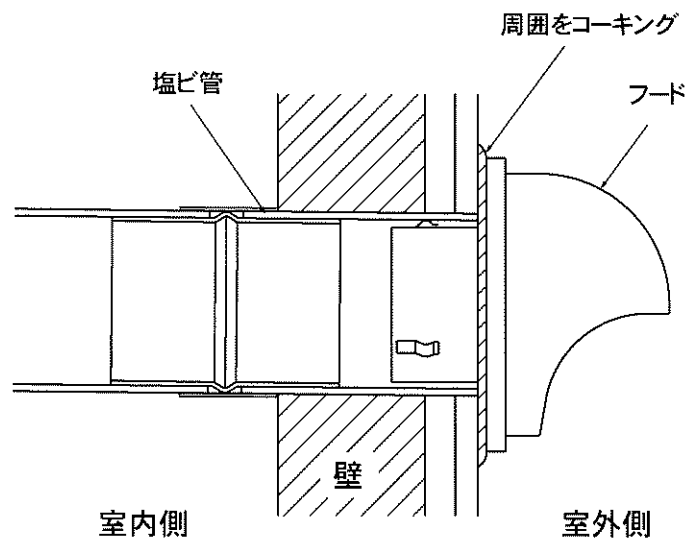
コーキング剤

2. パイプフードの開口部が下になるように塩ビ管に差し込み、周囲をコーキングします。

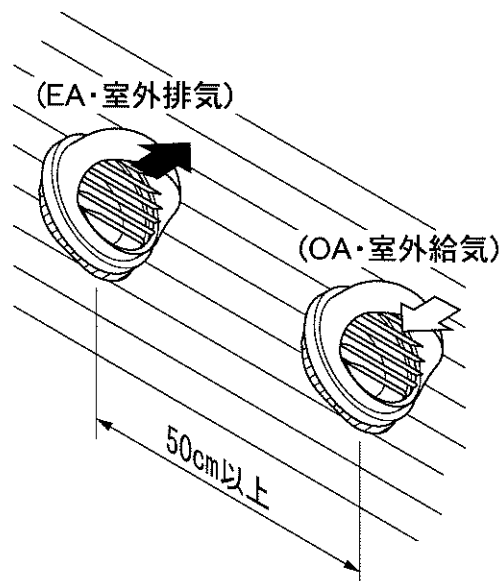


コーキング剤

※コーキング剤は、現場でご用意ください。



※給気口と排気口の中心距離は50cm以上離してください。  
(排気した空気を再び給気することを防ぐため)

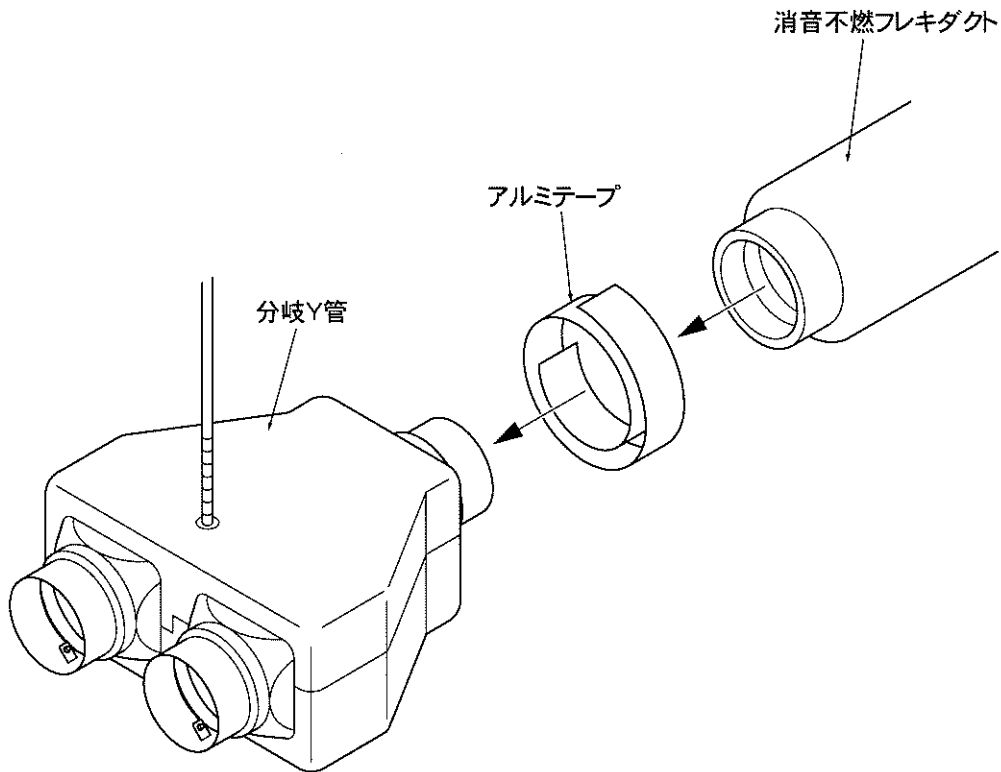


#### ⚠ 注意

- パイプフードと壁面の隙間及び全周にコーキング剤を施してください。  
不完全な場合は、壁内・室内に浸水し、壁面を汚す原因になることがあります。

## ④分岐Y管の取付け

1. 本体と同様、天上面にボルトで分岐Y管を取り付けます。
2. ダクトを分岐チャンバーに差し込みます。
3. 差し込んだ部分をアルミテープで巻いて止めます。



※天井吊下げボルト、ボルト、ナットなどは  
現場にてご用意ください。

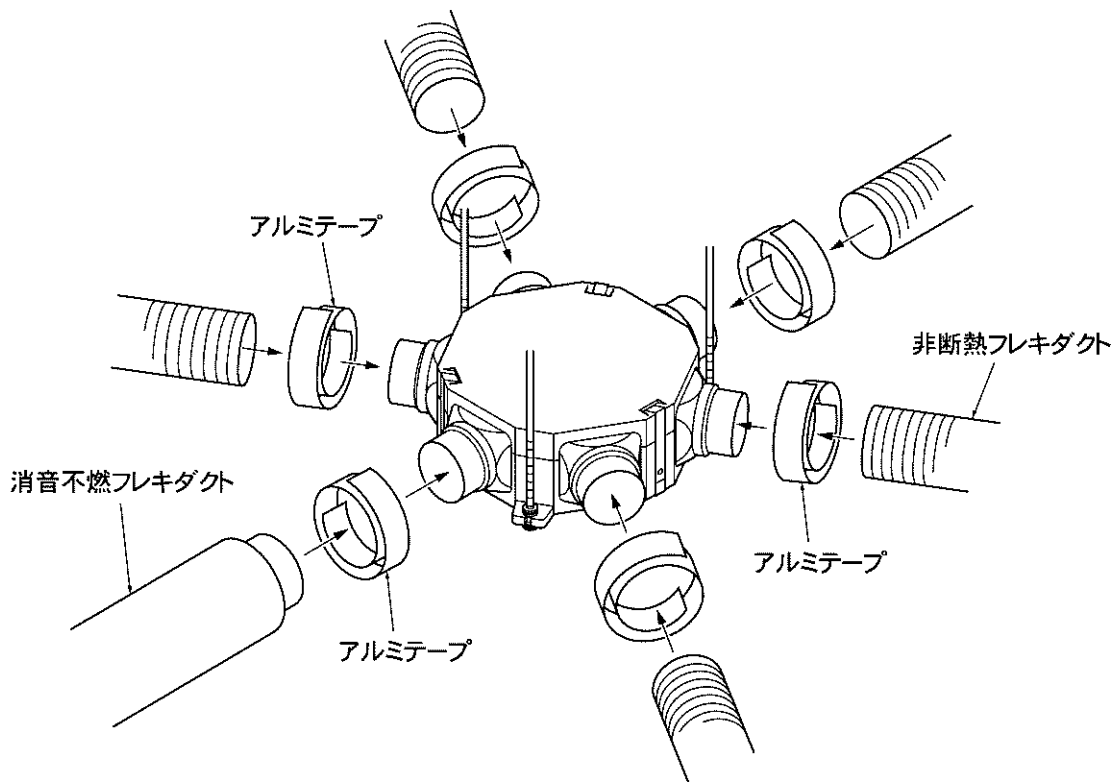
※アルミテープ貼り付け後、接着力を強めるために、アルミテープの  
表面を強くしごいて十分密着させてください。



## ⑤分岐チャンバーボックスの取付け

1. 本体と同様、天上面にボルトで分岐チャンバーを取り付けます。
  2. ダクトを分岐チャンバーに差し込みます。
  3. 差し込んだ部分をアルミテープで巻いて止めます。
- ※φ50用分岐チャンバーボックスも同じ要領で取り付けます。

【φ100用の場合】



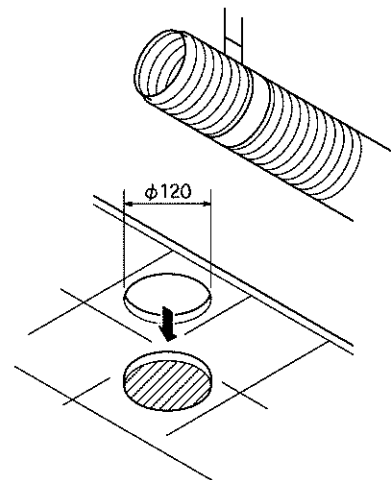
※天井吊下げボルト、、ボルト、ナットなどは  
現場にてご用意ください。

※アルミテープ貼り付け後、接着力を強めるために、アルミテープの  
表面を強くしごいて十分密着させてください。

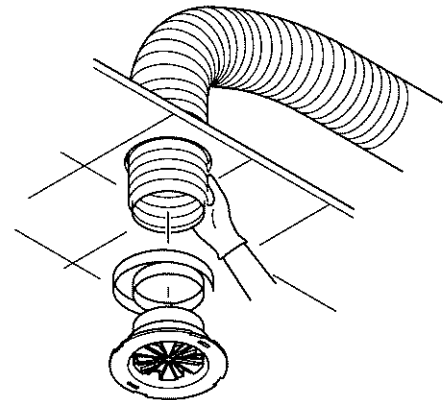
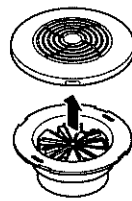
## ⑥グリルの取り付け

### 【φ100用の場合】

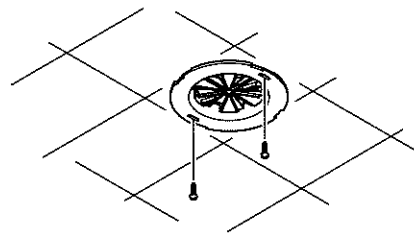
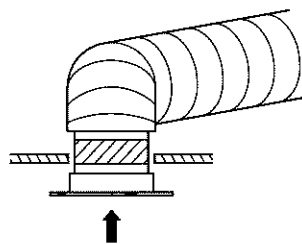
1. 設置する天井面にφ120の穴をあけます。



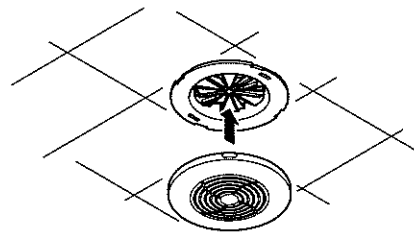
2. 本体からパネルを外します。  
3. あけた穴からダクトを引き出し、本体をダクトに差し込みアルミテープで巻いて止めます。



4. 本体を穴に押し込み付属のネジで固定します。



5. 外しておいたパネルを本体に取り付けます。



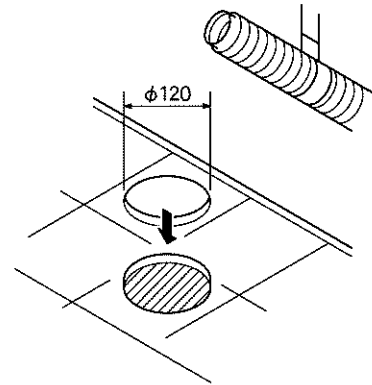
### ⚠ 注意

- グリルは確実に取り付けてください。  
落下により、けがをする恐れがあります。

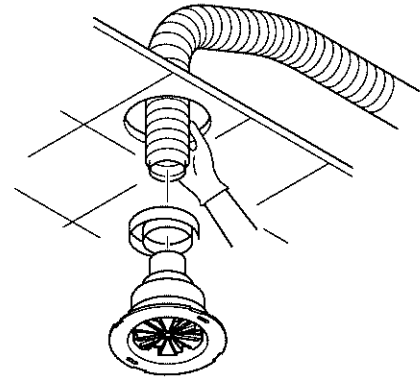
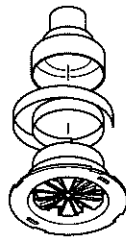
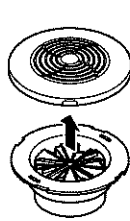
※アルミテープ貼り付け後、接着力を強めるために、アルミテープの表面を強くしごいて十分密着させてください。

## 【φ50用の場合】

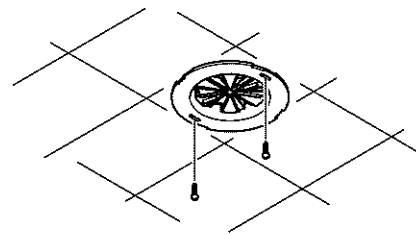
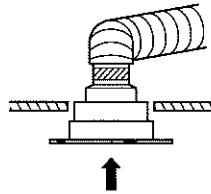
1. 設置する天井面にφ120の穴をあけます。



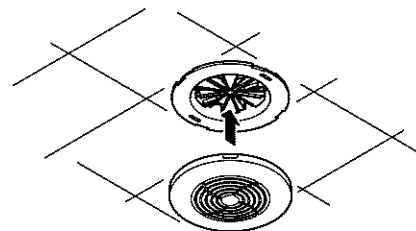
2. 本体からパネルを外します。
3. φ50用アダプターに本体を差し込みアルミテープを巻いて止めます。
4. あけた穴からダクトを引き出し、アダプターをダクトに差し込みアルミテープで巻いて止めます。



5. 本体を穴に押し込み付属のネジで固定します。



6. 外しておいたパネルを本体に取り付けます。



### ⚠ 注意

- グリルは確実に取り付けてください。  
落下により、けがをする恐れがあります。

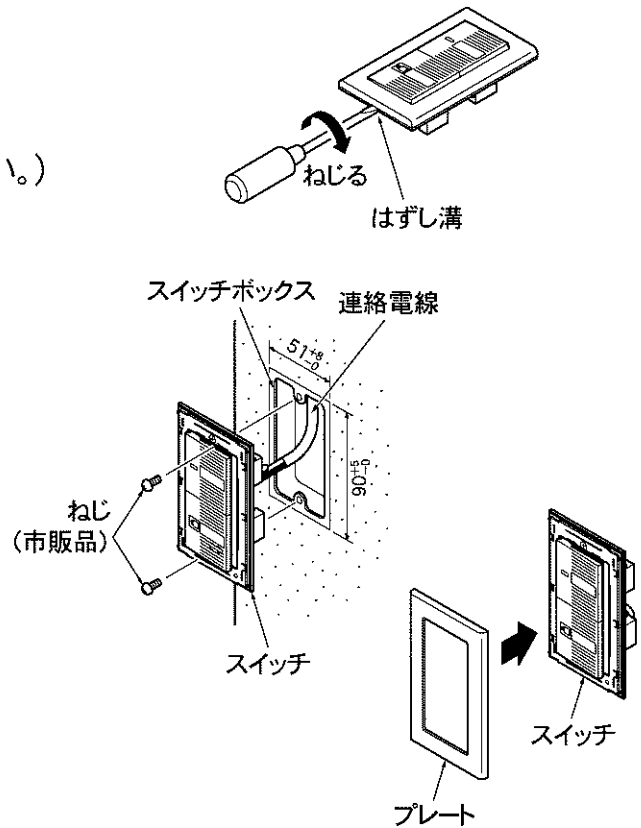
※アルミテープ貼り付け後、接着力を強めるために、アルミテープの表面を強くしごいて十分密着させてください。

## ⑦スイッチの取り付け

### 【スイッチボックスを使用する場合】

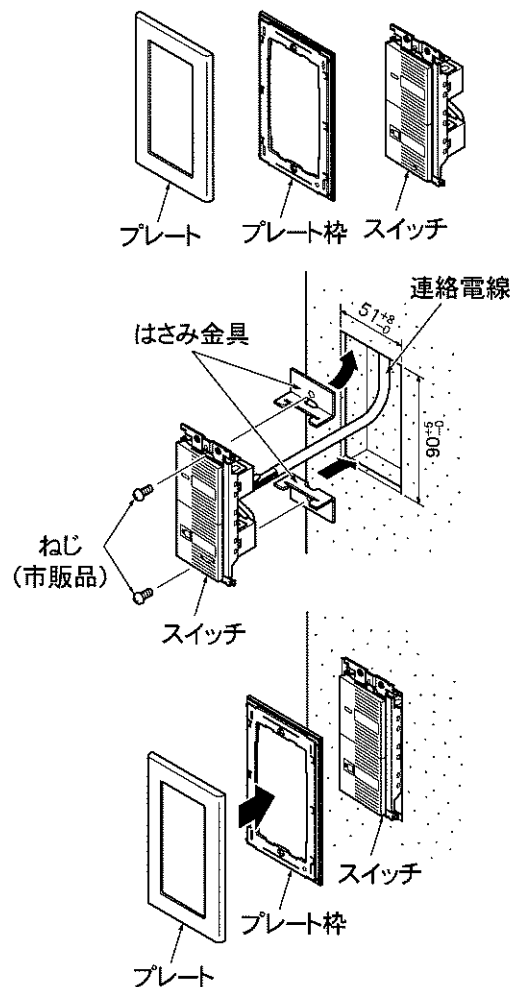
(事前にスイッチボックスを設置しておいてください。)  
※スイッチボックスは現場にてご用意ください。

1. マイナスドライバーなどを使用してプレートをはずします。  
※プレート表面に傷をつけないように気をつけてください。
2. 結線図の通りに結線して、ねじ(2コ)でスイッチボックスに取付けます。
3. プレートをはめ込みます。  
※プレートの上下を間違えないように確認してください。



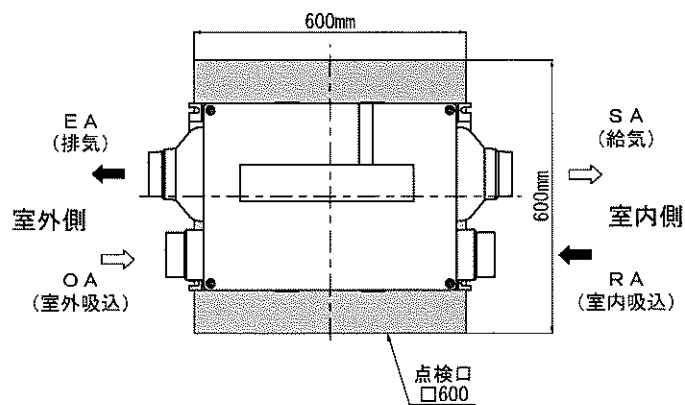
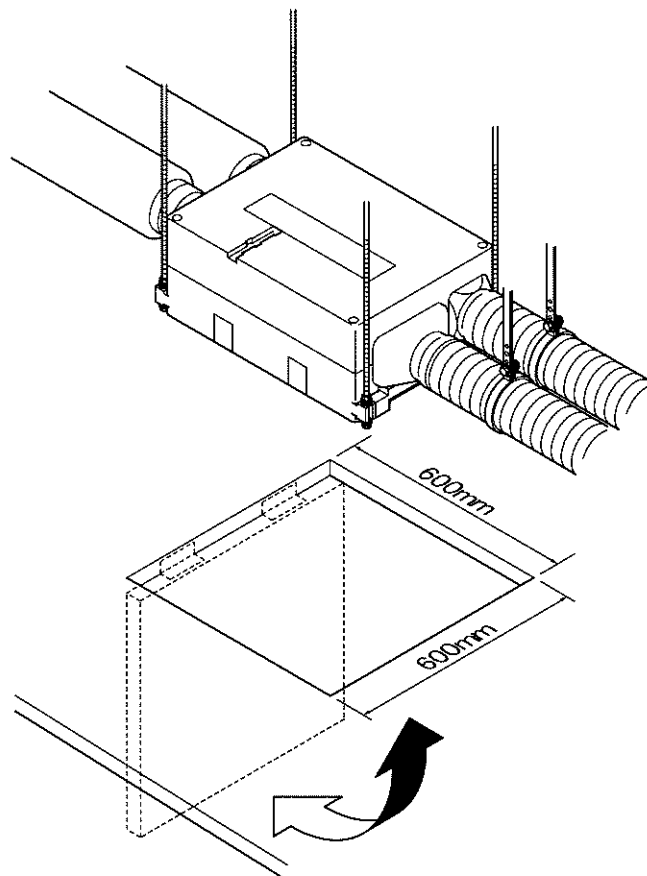
### 【スイッチボックスを使用しない場合】

1. スwitchボックスを使用する場合と同様にプレートをはずし、ねじをゆるめてプレート枠をはずします。  
※プレート表面に傷をつけないように気をつけてください。
2. 結線図の通りに結線して、はさみ金具を使用して壁に取付けます。  
※はさみ金具は現場にてご用意ください。
3. プレート枠、プレートの順に取付けます。  
※プレート、プレート枠の上下を間違えないように確認してください。



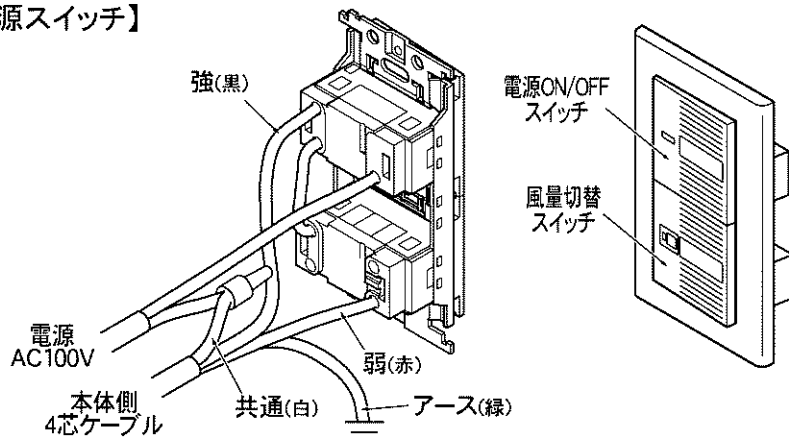
## ⑧点検口の設置

1. 本体を設置した真下の1階天井面に、 $\square 600\text{mm}$ の点検口を設けます。  
点検口から本体裏面のフタが取れるかどうか確認してください。
2. 点検口の開閉は、設置した本体ダクト側を開くようにしてください。  
※開閉の方向が違くと点検が困難になります。



# 配線図

## 【電源スイッチ】



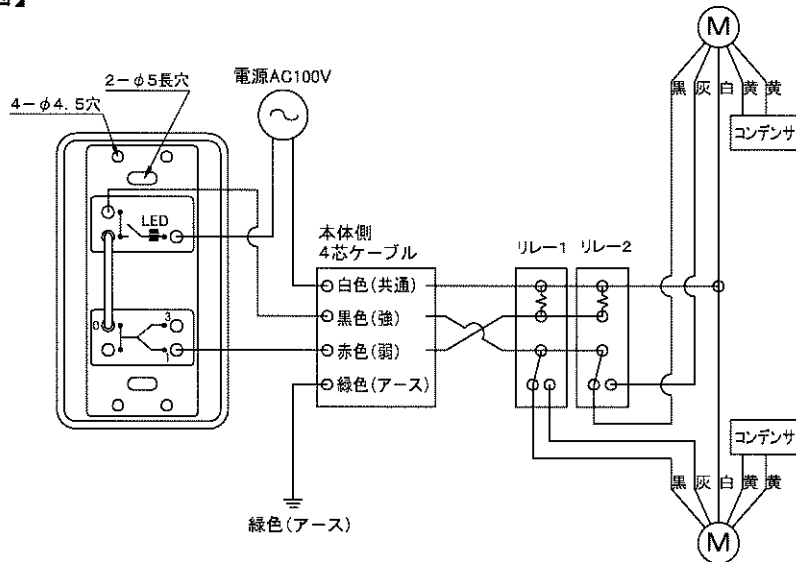
適用連絡電線

600Vビニル絶縁電線(IV)  
φ1.6 φ2.0Cu単線

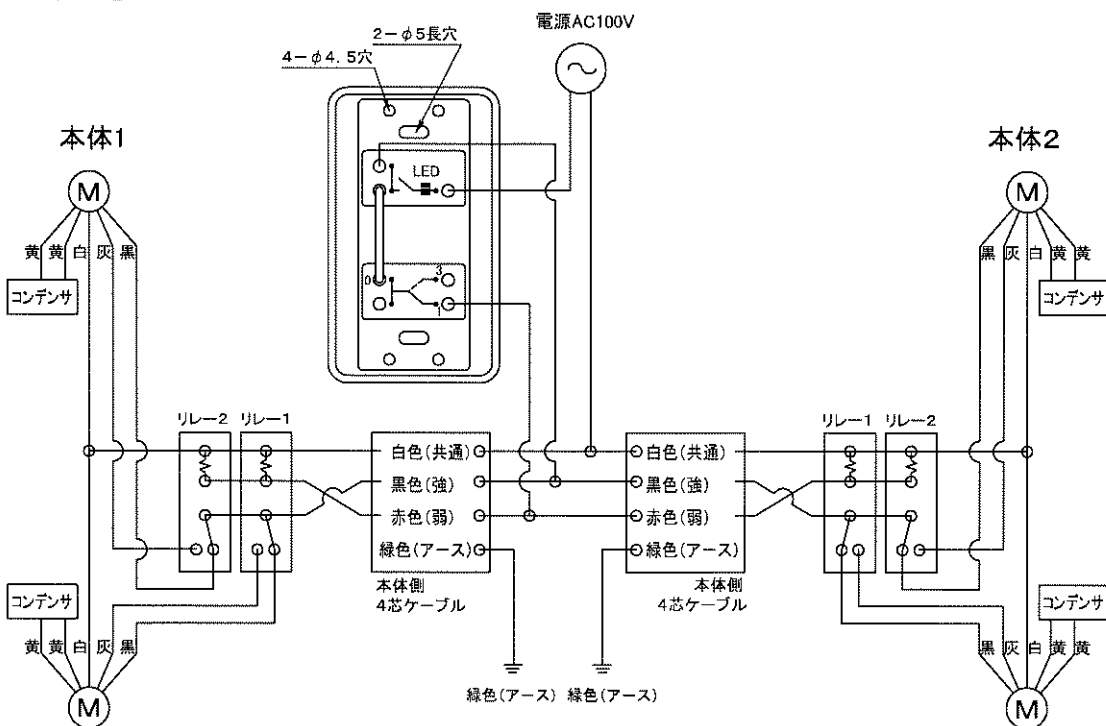
600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF)  
φ1.6 φ2.0Cu単線

12mm

## 【1台接続配線図】



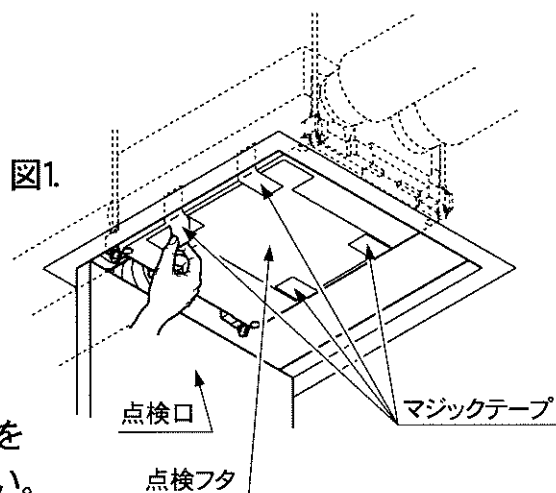
## 【2台接続配線図】



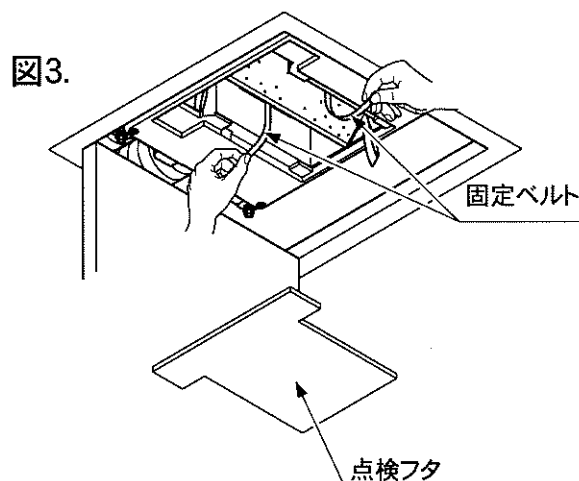
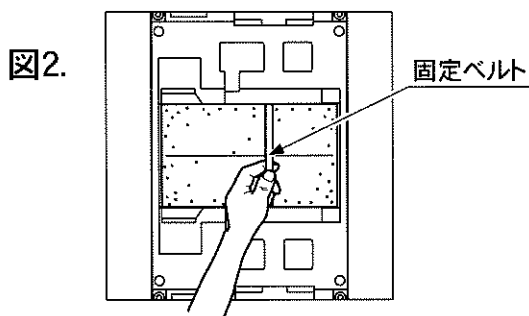
# フィルターのお手入れ方法

## 【フィルターのお掃除】(年に3~4回)

- ① 天井の点検口を開け、点検フタのマジックテープ(4ヶ所)をはがし点検フタを取りはずしてください。  
図1.

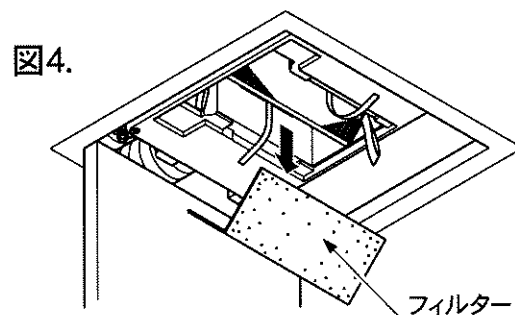


- ② フィルター、熱交換素子固定ベルト(マジックテープ)をはがし、フィルターを熱交換素子からはがしてください。  
図2. 図3. 図4.



- ③ 取りはずしたフィルターは軽く手ではたくか掃除機でゴミやホコリを吸いとってください。  
汚れがひどいときは、台所用洗剤(中性)をうすめて押し洗いしてください。

- ④ フィルターは十分に自然乾燥させ、元どおりに熱交換素子に貼り付け、固定ベルトを確実に貼りあわせてください。



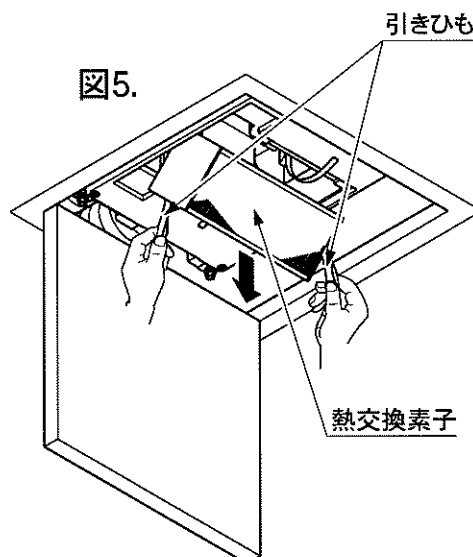
- ⑤ 点検フタを取りつけ、マジックテープ(4ヶ所)を確実に貼りあわせてください。

- フィルターは、5~6回のお手入れを目安に別売りの取り替え用フィルターと交換してください。  
《交換用フィルター品番 24A : TSK-24A-KF》  
《交換用フィルター品番 24B : TSK-24B-KF》

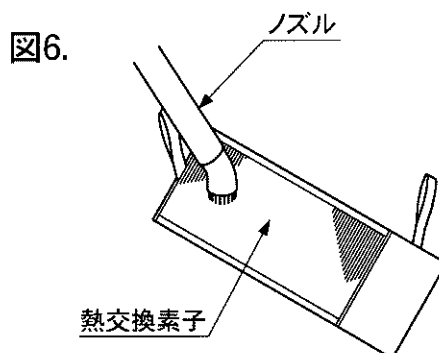
# 熱交換素子のお手入れ方法

## 【熱交換素子のお掃除】(特に汚れのひどい場合)

- ① 天井の点検口を開け、点検フタのマジックテープ(4ヶ所)をはがし点検フタを取りはずしてください。図1。
- ② フィルター、熱交換素子固定ベルト(マジックテープ)をはがし、フィルターを熱交換素子からはがしてください。図2. 図3. 図4。
- ③ 熱交換素子の引きひもを引いて熱交換素子を本体より取り出してください。図5。



- ④ 掃除機のノズルで表面のゴミやホコリを吸いとってください。図6。



- ⑤ お掃除が終わりましたら、熱交換素子をもとどおりに納めフィルターを貼りつけて固定ベルトを貼りあわせ点検フタをもとどおり固定してください。